

1. 本園の教育目標

心豊かにたくましく生きる力を育む ——— 遊ぼう 学ぼう みんな笑顔の幼稚園 ——— ○生き生きとした明るい元気な子ども ○やさしく豊かな心をもつ子ども ○よく考えて、最後までやりぬく子ども ○すすんであいさつができる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> 子どもが自分で見の回りのことを行い、生活リズムや生活習慣を身につける。 体操や音楽リズム活動を通して、体幹を鍛え、身体表現力や感覚統合力を育む。 挨拶の大切さや様々な生活のルール、マナーを育てる。 ○少人数保育の良さを生かした保育の充実 <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の興味・関心や発達の姿を細やかに把握し、それぞれの個性やペースに応じた援助を行う。 子どもの思いや気持ちを受けとめ、安心して自己表現できるよう温かく寄り添う。 友達との関わりが深まるように見守りながら、必要に応じて仲立ちをする。 ○園児の主体性を引き出す関わりと環境づくり <ul style="list-style-type: none"> 「やってみたい」という気持ちを大切に、考えたり試したりする機会を広げるように援助する。 身近な自然や生き物に触れ、探究心や観察力を養い、命の大切さや自然環境への関心を育てる。 行事に意味をもたせ、園児が主体的に進められる機会を作る。 ○いろいろな人とのつながりを大切に、地域に愛される幼稚園を目指す <ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーに来ていただいたり、公園や公共施設など地域の環境を活用し、挨拶をしたり言葉を交わしたりする中で、地域に親しみや愛着をもつ。 保育所や小学校、地域の高齢者との交流活動を通して、いろいろな人との関わりを広げ、皆から大切にされているという自己肯定感や思いやりの心を育む。 幼稚園行事や活動の様子を保護者や地域へ発信し、地域に親しまれ愛される幼稚園づくりを進める。
--

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1) 基本的な生活習慣の確立	B	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み中は、小学校で実施されている健康観察カードを参考に、幼稚園でも「からだくんありがとうノート」を取り入れた。また「やくそくノート」を活用し、2学期以降の生活リズムを整えるきっかけとなった。 「げんきつきタイム」「きらきらタイム」では、異年齢児の交流の機会を多く取り入れ、また、体操やリトミック、ゲーム遊びをして体幹を鍛え、身体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにした。 地域の方の立哨・ニコニコ挨拶の日の取組により、元気よく挨拶する姿が見られた。
(2) 少人数保育の良さを生かした保育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> 少人数保育の良さを生かす取組をどのように進めていくかを職員で話し合う機会もった。少人数ならではの落ち着いた環境の中で、子ども同士がじっくり関わりながら遊びを深められるよう、教師は子どもの発達や興味・関心を丁寧に把握し、個に応じた関わりや援助を行ってきた。 保育所・小学校との交流、ゲストティーチャーや地域の方とふれ合う機会を多く取り入れ、いろいろな人と関わる楽しさを味わえるようにした。 今後も魅力ある教育内容が展開できるよう、今後も家庭・園・地域とが協力して取組を進めていきたい。
(3) 園児の主体性を引き出す関わりと環境づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> 園内の自然環境を取り入れた遊びを継続できるよう環境を整え、ゲストティーチャーの方の協力により、子どもの興味関心を広げていくことができた。また、GOYO研修では職員で保育の振り返りをする機会をもち、遊びの姿から「幼児期に育てたい10の姿」を見取りドキュメンテーションにして可視化、遊びの振り返りをし、次の保育計画に

		<p>つなげていくことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み中に、保育所・小学校の先生方に保育を見ていただく機会を作り、その後、職員研修会をもち、子どもの姿について意見交流することで、互いに新しい視点で保育を振り返ることができた。
(4)いろいろな人とのつながりを大切に、地域に愛される幼稚園を目指す	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の方に、より具体的に発信するために園での様子を写真等で知らせるドキュメンテーションを作成し、掲示板への掲示、市ホームページへ掲載してきた。また、より保護者が興味をもって見てもらえるよう、毎日の保育活動の様子コメントを掲示し、保護者と園児が今日の出来事について会話をするきっかけづくりとなった。 小学校・保育所との交流が活発にできるように、年度当初に職員同士で綿密な打ち合わせを行った。横のつながりをしっかりと持つことで滑らかな接続を意識し、更なる接続ができるように次年度へ繋げていきたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> 今年度は「子どもの育ちと学びをつなぐ」～いろいろなひと・ものとの出会いの中で～のテーマのもと実践を重ねてきた。職員で少人数園のよさと課題について話し合い、行事や保育活動の中に積極的に地域へ出かけていく取組（地域公園や近くの商店、郵便局）や老人会・ゲストティーチャー・保育所・小学校との交流を取り入れてきた。いろいろな人との出会いを通して、温かく声をかけてもらったり、園児の様子を知ってもらったりすることで、園児たちは皆から愛され大切にされていることを実感することができた。今後も、幼稚園教育について、子どもの姿を通して知っていただく機会を大切にしていきたいと思う。 保護者の対話を大切に、日々の子どもの姿を丁寧に伝えること、子どもの育ちや学びについて、ドキュメンテーションや掲示コメント、活動の記録等で具体的に可視化することで、幼稚園教育について理解と協力を得ることにつながったと思う。
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
豊かな学び（遊びの充実）	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画を見直し、2年間で育てたい姿を明確に発達年齢に合わせて、どんな力をつけたいのかをしっかりと話し合い実践に移していく。園児や教師が「やってみたい」とわくわくする保育環境づくりに取り組む。
保育所・小学校・地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> 今後も園内の活動を、コドモン・ホームページで知らせていく。 園児だけでなく職員の交流にも努める。保育所・小学校教員による夏の保育参観・職員研修会を継続し、幼稚園教育で伝えたいことをしっかりと小学校へ知らせる工夫をする。 幼稚園教育を知ってもらう場として、各所校との交流、未就園児交流における子育て支援を実施し、地域に積極的に働きかけ、地域に愛される園づくりを目指す。
教育の質の向上と教員の指導力	<ul style="list-style-type: none"> 研修テーマを設け、テーマに特化しながら保育の質を高める研修を行う。 GOYO研修の年間計画をたて、継続した研修ができるようにする。 見通しをもった保育ができるようにすすめ、教材研究や環境改善の時間を確保できるようにしていく。必要に応じて互いにアドバイスできる職員関係に努める。

6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

<ul style="list-style-type: none"> 一年間、園児の成長を見守る貴重な経験ができました。どの行事も先生と子どもたちとで話し合いを重ね、一緒に作り上げられているということがよく分かり感激しました。 待ちの姿勢ではなく、出前の心構えで地域周辺に出向くことが評価できる。また、子ども一人一人の育ちに対して、いろいろな人たちのスムーズな支えがある。 今ある幼稚園の環境、少人数保育の良さを上手に利用しているところが良い。 生活発表会では一年の大きな成長を見せていただいた。友達と同じ表現をする中でも、一人一人の個性を十分に発揮し、また普段から取り組まれているリトミックの成果が、劇遊びを最高に盛り上げ素晴らしかったです。 今年度は特に地域とのつながりを大切に活動を広げられたことが、園児にとって経験が増え、良かったと思います。 今年度はコドモンの導入により、登降園システムや欠席連絡、手紙・アンケートの配信等を実施しているが、今後も保護者の方の協力を得て、よりスムーズに連携を取ることができるようしていく。 幼稚園は、これからも子育て支援の拠点として、地域のいろいろな人との出会いとつながりを大切に、行事に意味をもたせ、豊かな経験ができる保育を目指していく。
--